

信濃國北山温泉  
湯畠

1079

# 勅諭五ヶ條ヲ奉誦シ敵陣ニ於ケル

第三大隊 陸軍大尉 宮臺嘉晴

宮臺大尉ハ第五回生ニシテ人情高潔盡忠至誠ニ徽シタル  
典型的武人ニシテ毎朝兵ニ先ジテ起床シ旭日旗、東天ニ向ヒ宮城  
ヲ遙拜シ後軍人勅諭全條ヲ奉誦セシト十年一日ノ如ク中隊、將兵  
常ニ等シク感漫シアリ 又宮臺大尉、戰場ニ臨ヘヤ常ニ勇猛シテ  
漢水豫南長沙、各作戰ニ於テ赫ヤタル不滅、殊勲ヲ樹テタリ  
昭和十七年四月信陽西北方地區掃蕩戰開始セラル、ヤ勇躍出動シ  
其卓戦セル指揮ト勇猛果敢常ニ激勵不減、率先陣頭主義ニ依ル  
指揮ハ將兵、志氣益々高揚セラレアルヲ見タリ

四月二十七日宋庄附近、敵陣地攻撃ヲ命セラシ、ヤ宮臺大尉ハ細雨蕭  
々敵陣下ニ中隊將兵全員ヲ東面ニ集合整列セシメ、同ト共ニ勅諭  
五ヶ條ヲ奉誦、必勝誓文ト共ニ四章旗ヲ右肩ヨリ左脇ニ懸心テ夕陽正ニ

次ヤントスル二十時頃、頑強最後迄、抗ラ持續ヤントスル敵陣深ク。然シ連日連夜不眠不休、行動、爲疲勞困憊シ柄モスレバ峻旅セリ。スル部ヲヒ咤激励シ遂ニ宋庄高地ラ占領セリ。

中射ラ浴セ來リタリ、剛毅ナル中隊長ハ、敢然トシテ部下衆名ト共ニ群ガル敵中ニ血刀ヲ振ヒ突入獅子奮迅忽テ數名ヲ其場ニ斬殺シ敵心膽ヲ奪シテ敗走セシメタルモ無念飛來セル敵彈ハ中隊長、胸部。

ヨリ通ス剛毅ナル中隊長ハ尚モ二三歩前進其場ニ墮ル、も前進シテヨト叱咤シテ敵陣ヲ睥睨カニ、天皇陛下萬歳ヲ唱へ遂ニ壯烈ナリ戰死ヲ遂グ。

金上ノ如ク行往坐臥、間常ニ向ツ所ヲ勅前ニ歸セル中隊長ノ格ハ、陣頭萬采トシテ光彩アル剛毅果敢ナル行動ト相俟テ後昆ヲ教訓シテ余ス并ナキ典型的武人、面目ヲ發揮セシモハト謂フバシ

正月ノ龜鑑タヒニ恥ジズ

裸一舟獨流ラ渡河シ傳令乍發ラ完遂ス

第六隊第三隊 陸軍上等兵 佐々木秀夫

昭和十七年四月二十五日信陽西北地區沸湯戰於六ノ高地ラ  
占領確保シアル中隊八山上、城壁ニ據リ追擊砲、掩護射擊下ニ  
反撃挑戦シ來ル、戰意旺盛ナル敵第六、軍ヲ眼前ニ睨ミ籠城スル  
コト三日際隊主力ハ遙ルカ眼下、沈陽台詔溝ニ集結ジアリ連日運  
夜、豪雨タメ氾濫一夜、中ニ淮河、増水シ獨流沿や附近ニ橋梁及舟  
ハ無ク孤立無援、狀態タリ、中隊長武藤也馬、二聯隊本部ニ連絡セ  
ト手旗、懷中電燈ヲ用フルモノナラバ

茲ニ於テ指揮班佐命上等兵ハ進ニテ「中隊長殿、私が行ツテ來マスト」敢  
シテ由出デ中隊正面、敵情報告書ヲ持ツテ勇躍出發、當時追擊砲、  
射彈身邊ニ落シ敗残兵横行スルカラズ未だ渡河セレ者ナキ  
淮河(河幅約10m)獨流中ニ裸ニ舟トナツ飛行シ、報告書戰艦、

中ニシテ泥水ヲ參ミ稍モスバ急流ノ爲流サレント奔流ヲ征シテ對岸泳ギ渡リ爾後其儘、服裝ヲ以テ約四千人道ヲ前進、聯隊本部至リ連絡ヲ本部ニ至ルヤ也、隊、狀況ヲ報告スルト共ニ爾後、行動三關スル命令ヲ受ケ再び毎河ヲ泳ギ中隊ニ歸還、傳令、任務ガラ遺憾ナリ完隊セリ

右上等兵、難局ニ於ジテ敢發セドイヌル犠牲的行動ハ旺盛ナル者、任観念ト相俟テ果敢奔流ヲ征シ以テ連絡、任務ヲ完成シ爾後ニハケル中隊戰鬪極メ調諭ナカラシメタリ正ニ蒙、兵士タルモノト認ム